

ぬまづ憲法9条の会

159号
2019年5月1日
事務局
神田健夫
921-7755

令和を新しい時代とし 改憲勢力 本格始動へ

橋下徹氏が、12日、大阪維新の府・市での圧勝を受けて、ツイッターで自民党大阪府議に「維新と組んで大阪都構想を進め、関西の公明党衆議院議員を落選させれば、憲法改正に道が開ける」「憲法改正を大阪市議会から動かす政治家になるべきだ」と。血生臭さも漂う。

萩生田光一自民党幹事長代行が18日、インターネットのDHCテレビ・虎の門ニュースの番組で「新しい時代（令和）になったら、自民党は少しワイルドな憲法審査を進めていかないと」と。

萩生田氏は一応陳謝したが、発言は撤回しなかった。

安倍首相が、23日の新憲法制定議員同盟大会へのメッセージで「令和元年という新しい時代のスタートに立ち、この国の未来像について真正面から論議を行うべき時にきている」と。

令和を新しい時代ととらえ、いずれも、改憲に本格的に取り組む姿勢を明確にした。

自衛隊を

加えるだけ？

何度目かの、「安倍改憲の自

衛隊明記とは？」

自民党改憲推進本部が国会議員に配布した改憲条文素案Q&Aをみてみよう。

その解説では、憲法9条の条文を残した上で、新たな条項で自衛隊を明記するだけだから、憲法解釈は変えることはないとしている。本当？

かつての自民党政権の憲法解釈は、「専守防衛」の立場で、「他国を衛もる権利」＝集団的自衛権の行使は違憲としていた。

安倍内閣の歩みは

閣議決定で集団的自衛権の行使を認め、戦争法で海外での武力行使の道を開いた。アメリカの戦争に参加できると解釈を変えた。

条文の上でも

自民党の文書によると、「自衛の措置（自衛権）」も言及すべきとの観点から、自衛隊明記の改憲条文素案にしたと言っている。その説明によれば、素案には「自衛権」の文言はな

いものの、素案にある「自衛の措置」は自衛権を含んでいる。

自民党の解釈によれば、自衛権には個別的自衛権も集団的自衛権も含まれる。だから、集団的自衛権の無制約な行使まで、「合憲」にされてしまう。

安倍改憲に騙されまい

自衛隊を明記するだけと言いながら、9条2項「国の交戦権は認めない」は空文化されるに等しく、むしろ削除に近い。安倍改憲に騙されてはならない。

（上協博之神戸学院大学へのインタビューを基に書きました）

5月3日意見広告

5000名の賛同得て

読売、毎日新聞両紙への1面全面意見広告は、「憲法変えるな！政治を変えよう」を中心に、「安倍9条改憲は 自衛隊も国のあり方も大きく変えてしまう」などと呼びかけています。

東部2495名 中部1419名 西部1092名 合計5006名の氏名掲載賛同者の他、寄付のみで賛同者にもご協力をいただきました。みなさん、ありがとうございました。みなが、ありがとうございます。

5月3日掲載予定で、新聞の抜き刷りのお届けは連休後になります。

改憲を断念させよう

主催・戦争させない 憲法壊すな 沼津の会

集会・パレード

日時・5月26日（日）

会場・沼津中央公園

集会・13時30分〜

小雨決行

パレード・14時〜

雨天中止

スタンディング

改憲を断念させよう

5月11・18日（土）

JR・沼津駅南口

井上靖碑前

13時30分〜

14時15分

元号の嵐の中で考える

「元号」の嵐が吹き荒れている。「平成最後の・・・」

「新しい時代、令和」の常套句が飛び交う。主権在民は姿を消し、時代は前後切り裂かれ、歴史も権力者に心地よいものは讃えられ、都合の悪いものは消される。

令和が発表された4月1日、安倍首相はテレビに出ずっぱり。しかし、その説明は次第に「一億総活躍」といった政権の宣伝に転じていった。

・「嫌な感しの首相会見」
うなずく人も多いのではないか」（東京新聞・永田浩三さん）

内向きに『私たち』の内
部で誇るより、日本の固有性を今の『私たち』の外側に開いていく回路をつくっていかないといけない
(朝日新聞・大澤真幸さん)
その「日本の固有性」と「回路」の一つが、憲法9

条と言えるのではないか？

官邸に近い人物 再任

NHKが、「政府が右と
ということをして左というわけにはいかない」と言い放った板井会長時代に専務理事だった板野裕爾氏を再び専務理事に任命しようとしている。

板野氏は、放送総局長時代に、「クローズアップ現代」の国谷裕子キャスターを降板させ、「安倍チャンネル」と市民の批判をうけた「官邸に近い人物」だ。

NHKでは先日、「皇室の祖先の『天照大神』が祀られる伊勢神宮」と、神話を前提に報道が行われている。驚く！

NHKが官邸にますます近づき、官邸がNHKをたやすく操る。報道の自由を脅かす事態が進行している。

視聴者の声窓 □ NHKふれ

あじセンターに抗議の声を。
0570・0666・066

首相官邸、菅官房長官の東京新聞・望月衣塑子記者への個人攻撃、言論抑圧も続いている。望月記者は「一人になっても権力に立ち向かう」と意気軒昂。

マスコミ文化情報労組会議なども支援、運動を強めている。

今 沖縄で

宮古島島民には「保管庫」
実は「弾薬庫」

南西諸島の、奄美大島、宮古島、石垣島、与那国島で陸上自衛隊は、ここ数年基地建設を急速に進めている。

宮古島では防衛省は「弾薬庫ではなく、小銃などの保管庫」と地元で説明していたが、実際は配備する誘導弾と迫撃砲の弾薬庫であることが分かった。「完全なだまし討ちだ」と地元の批判が噴出してきている。

菅官房長官が個人攻撃を繰り返している東京新聞・望月衣塑子記者がスクープした。

日本の“軍隊”は嘘をつき続ける体質・歴史を持つが、ここまであからさまとは！

辺野古 民意を無視し、
違法・無法を繰り返す

2月の県民投票で7割超の県民が「辺野古埋立反対」の意思を明確に示した。4月の補選で県民は「埋立賛成」を主張した候補を落選させた。

だが、安倍内閣は、3月下旬、新たな工区への土砂投入を強行した。4月下旬には本部港の土砂搬出口を2か所に増やし埋立を加速させていこうとしている。

公共工事として辺野古埋立工事は、失格である。公共工事では不可欠な、詳細設計も工費積算も工事期限も明らかにされていない。こんなことは、土木、建築

業者、行政担当者にとって常識外のことである。だが、防衛省は平然としている。公共工事のあり方としてもNOの世論の結集を

増税延期と衆参同時選

萩生田光一自民党幹事長代行は、1面でふれたDHCテレビ・虎ノ門ニュースで「6月日銀短観によつては消費税増税の先送りを」とも発言し、党内から批判をあびた。

安倍首相の「側近中の側近」の萩生田氏の発言だけに、安倍首相の思いを「代弁」したものと受け止められている。

「消費税増税の延期と衆参ダブル選挙も憲法改正へのステップなのかもしれない」と産経新聞は述べる。これまた、安倍首相を代弁しているのでは？